



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。e-mail で jimuj@geppou.asj.or.jp 宛。
なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 迄お送り下さい。

人事公募結果

- 1. 掲載号
- 2. 結果 (前所属)
- 3. 着任時期

東北大学 大学院 理学研究科 天文学専攻教授

- 1. 第 95 巻 8 号
- 2. 千葉柁司 (国立天文台助教授)
- 3. 2003 年 6 月 1 日

京都大学基礎物理学研究所教官

- 1. 天文月報大 96 巻 9 号
- 2. 佐々木 節 (阪大院・理)

研究会・集会案内

日本物理学会第 58 回年次大会総合講演

小柴昌俊先生のノーベル物理学賞授賞を記念して、日本物理学会第 58 回年次大会中 (天文学会春季年会終了後、同じ会場で大会は行われます) に主に物理学会参加者向けに総合講演会が以下の要領で行われます。天文学会も協賛となっており、天文学会会員の方は、講演会の聴講に限っては物理学会参加の登録料が免除されます。どうか奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

テーマ：ニュートリノ天体物理学の誕生

日時：2003 年 3 月 30 日(日) 午前
会場：仙台国際センター大ホール
(“橋”でも TV 中継)

プログラム：

- I. 物理学会会長挨拶および物理学会各賞の表彰式

(9:15 ~ 9:45)

II. 総合講演：

- 1. 江崎玲於奈氏

「量子論と半導体先端技術

—超格子など半導体量子構造の発展—」60 分

(9:45 ~ 10:45)

- 2. 小柴昌俊氏

「ニュートリノ天体物理学の誕生」60 分

(11:05 ~ 12:05)

岡山天体物理観測所の特別天体観望会のご案内

国立天文台岡山天体物理観測所 (OAO) は、日本一大きな 188 cm 反射望遠鏡による特別天体観望会を行います。観望会に参加をご希望される方は、事前の申し込みが必要になります。下記要項にしたがってご応募ください。

日時：3 月 29 日(土) 午後 7 時以降、2 時間程度
(観望時間 約 30 分、博物館 約 30 分)

場所：岡山天体物理観測所、岡山天文博物館

対象：小学生以上 (小学生は保護者同伴のこと)

天体：木星、土星等を予定

定員：100 名程度

参加料：無料

申し込み：往復ハガキに代表者の住所、氏名、年齢、電話連絡先のほかに、参加者全員の氏名、年齢を必ず記入のこと。参加者総数はハガキ 1 枚につき 5 名まで。3 月 7 日(金) 必着。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。3 月 16 日(日) までに結果を連絡します。

ハガキ宛先：〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄

岡山天体物理観測所 特別天体観望会係

問い合わせ先：国立天文台・岡山天体物理観測所

〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄 3037-5

Tel: 0865-44-2155(代表)

(休祭日を除く月曜～金曜の 9 時より 17 時まで)

FAX: 0865-44-2360

URL: <http://www.cc.nao.ac.jp/oao>

会務案内

正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 松田卓也

2003 年度春季総会開催のお知らせ

一 綴じ込みの返信用葉書で 3 月 18 日 (火)

までに到着するようご投票を！一

下記の通り 2003 年度春季総会を開催いたしますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の 5 分の 1 以上の出席が必要です (定款第 42 条)。欠席される場合には、下記の議案および説明をよくお読みの上、次の (1) または (2) のどちらかの対応して下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書 (以下「葉書」と呼ぶ) を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。

「葉書」は、3 月 18 日 (火) までに天文学会事務所に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。なお、下記の「投票および委任状の書き方」を参照して下さい。

○ 2003 年度春季総会

日時：2003 年 3 月 25 日 (火)

15 時 30 分～17 時 00 分

(総会出席者確認：15 時 30 分～16 時 00 分、

総会開始 16 時 00 分)

場所：東北大学 川内北キャンパス A 棟 2 階 (A 200)

注意：総会出席確認作業の時間中に会場へ入場して下さい。確認された方には表決の時に必要な札をお渡しします。

○ 議案の内容と説明

第 1 号議案 2002 年度事業報告

天文月報 2003 年 3 月号 162～165 ページ参照

第 2 号議案 2002 年度決算報告、監査報告

天文月報 2003 年 3 月号 166～172 ページ参照

また、2002 年度各賞の授与式を行います。

○ 「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出して下さい。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務所宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えられません。

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所 (または勤務先) の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票 (正会員以外の者)。
- 5) 2 重投票

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。
委任状については、次の場合に無効となります。
- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所 (または勤務先) の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの。

【第1号議案】

社団法人 日本天文学会 2002 年度事業報告書(案)

2002 年度は本会創立 95 年，社団法人設立後 68 年にあたる。

I. 出版物の刊行

1. 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan) : 第 54 巻 1 号～6 号，総論文数 127 編 (うち Letter 18, すばる特集号 14)，総頁数 1,206，発行部数 1,800 部，偶数月の 25 日発行，科学研究費補助金 (定期刊行物) 800 万円を受領
2. 天文月報 : 第 95 巻 1 号～12 号，総頁数 626，総目次 8 頁，発行部数 3,200 部，毎月 20 日発行
3. 年会予稿集 : 2002 年春・秋季年会の 2 回発行，総頁数 541，各 850 部印刷
4. ジュニアセッション : 春季講演予稿集 77 頁，500 部印刷
5. 公開講演会 : 春冊子 6 頁・250 部印刷，秋冊子 14 頁・600 部印刷
6. 会員名簿 (巻末に定款等の資料) を 10 月に発行，発行部数 3,400 部

II. 年会の開催

1. 2002 年春季年会 (茨城県)
 - ◇ 年会 : 3 月 28 日(木)～3 月 30 日(土)
茨城大学 (水戸市文京) の 8 会場 (口頭発表用 7，ポスター発表用 1) を使って開催された。
・参加者 : 875 名 (うちジュニアセッション・教育フォーラムのみの参加者 125 名，学生 272 名)
・講演数 : 498 件 (口頭 288，ポスター 210) 他にポストデッドライン講演 10 件，最新情報コーナー 3 件であった。
・企画セッション : 「しし座流星群」の企画セッションが開催された。
・懇親会 : 3 月 29 日(金) 18:00～20:00
茨城大学生協食堂 参加者約 270 名 (うち学生約 83 名)
 - ◇ 記者会見 : 3 月 27 日(水) 13:30～
茨城大学地域総合研究棟会議室
年会講演から 3 トピックスを選び，3 社の報道機関と会見し資料を提供した。
 - ◇ 天文教育フォーラム : 3 月 28 日(木)
16:00～17:30 参加者約 100 名
「新しい天文教育・普及の流れが見えた？」
(天文教育普及研究会と共催)
 - ◇ ALMA 特別セッション : 3 月 28 日(木)
16:00～18:30 参加者約 200 名

「ALMA で探る宇宙—活動銀河の形成と進化—」

- 1 : あいさつ
(天文研連委員長/名古屋大学教授 池内 了氏)
 - 2 : ALMA 計画の現状と今後
(国立天文教授 川辺良平氏)
 - 3 : ALMA で探る活動銀河の進化
(東北大学助教授 谷口義明氏)
 - 4 : 活動銀河形成の諸問題と ALMA
(京都大学助教授 鶴 剛氏)
 - 5 : 総合討論—ALMA と各種大型観測機器との研究協力— (本セッションは，日本天文学会，日本学術会議天文学研究連絡委員会，同電波科学研究連絡委員会 J 分科会，国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会の 4 者による共催)
- ◇ ジュニアセッション : 3 月 28 日(木)
10:00～15:50 参加者 215 名
第四回ジュニアセッションを開催した。講演数 23 件 (口頭発表 19 件，ポスター発表 20 件，ポスターのみ発表は 4 件であった)。
◇ 保育室 : 3 家族，子ども延べ 11 名の利用があった。
◇ 公開講演会 : 3 月 31 日(日) 14:00～17:00
茨城県立図書館視聴覚ホール
参加者約 250 名
「宇宙の歴史」
太陽系外惑星の発見 : 第 2 の地球は何処に
(東京工業大学 助手 田中秀和氏)
宇宙の過去はどこまで見えたか
(東京大学 教授 岡村定矩氏)
 2. 2002 年秋季年会 (宮城県)
 - ◇ 年会 : 10 月 7 日(月)～10 月 9 日(水)
ワールド・コンベンション・センター・サミット (宮崎市山崎町) の 8 会場 (口頭発表用 7，ポスター発表用 1)
・参加者 : 693 名 (うち学生 260 名)
・講演数 : 591 件 (口頭 : 331，ポスター : 260) 他にポストデッドライン 4 件，最新情報コーナー 1 件があった。
・企画セッション : 「突発天体・突発現象」のセッションが開催された。
・コンピーナー制 : 次の 3 つのテーマでコンピーナー制を試行した。「宇宙流体力学」，「公開講座・一般公開」，「高赤方偏移天体の年齢測定」
・懇親会 : シュラトン・フェニックス・ゴルフリゾート参加者 339 名 (内学生 126 名)
 - ◇ 記者会見 : 10 月 6 日(日) 15:00～
ワールド・コンベンション・センター・サミット
年会講演から 3 トピックスを選び，4 社の報道機関と会見し資料を提供した。
 - ◇ 法人化特別セッション : 10 月 7 日(月)

16:00～18:00 参加者約200名

「法人化と天文学研究の将来について」を日本学術会議天文学研究連絡委員会と主催し、各機関(4機関)からの報告とパネルディスカッションを行った。

◇ALMA 特別セッション：10月7日(月)

18:00～19:00 参加者約200名

「ALMA－日本参加の具体案－」

本セッションは、日本天文学会、日本学術会議天文学研究連絡委員会、同電波科学研究連絡委員会J分科会、国立天文台電波専門委員会ALMA計画推進小委員会の4者による共催で、以下のように進められた。

1. あいさつ

(天文研連委員長、名古屋大学教授 池内 了氏)

2. ALMA 計画の現状と今後

(国立天文台台長 海部宣男氏)

3. アルマ科学諮問会議等の報告

(東京大学 助教授 山本 智氏)

4. 総合討論

◇保育室：5家族、子ども延べ13人の利用者

◇公開講演会：10月6日(日)

宮崎市民プラザ・オルブライトホール

参加者125名

「「すばる」望遠鏡がとらえた宇宙の姿と天文研究」

・講演 宇宙科学研究所助手 矢野 創氏

「星のかけらから探る太陽系の始まり

－しし座流星雨と、星の王子さまのふるさと－」

・講演 国立天文台助教授 林 左絵子氏

「見えてきた「すばる」の誕生

－ハワイから探る星・惑星系の生い立ち－」

III. 各賞の授与

春季通常総会(茨城大学)の場で、次の方々へ2001年度の各賞を授与した。

1. 天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞

◎天体発見賞

板垣公一氏：超新星2001bq及び超新星2001gdの発見

長谷田勝美氏：新星さそり座V1178の発見

中村祐二氏：新星はくちょう座V2274の発見

多胡昭彦氏：新星はくちょう座V2275の発見

BATTeRSプロジェクト：彗星C/2001 W2 (BAT-TERS)の発見

◎天体発見功労賞

畑山和也氏：新星はくちょう座V2275の独立発見

◎天文功労賞

(長期に亘る功績)

成見博秋氏：変光星の目視測光 25万点

(短期的な功績)

薄 謙一氏：1998年ボン・ウィネッケ流星群の活動を検出

大島誠人氏：2001年のや座WZの増光を検出

村岡健治氏：P/2001 X3を11D/Tempel-Swiftと同定

2. 研究奨励賞(第13回、推薦件数9)

児玉忠恭氏：東京大学大学院理学系研究科天文学専攻・助手 「銀河団の形成と進化についての研究」

3. 林忠四郎賞・欧文報告論文賞

◎林忠四郎賞(第6回、推薦件数3)

柴田一成氏：京都大学大学院理学研究科附属天文台教授 「宇宙ジェット・フレアにおける基礎電磁流体機構の解明」

◎欧文報告論文賞(第6回、推薦件数3)

論文名：First Results of a CO Survey of the Large Magellanic Cloud with NANTEN: Giant Molecular Clouds as Formation Sites of Populous Clusters, PASJ, Vol.51, pp745-749 (1999)

共著者：Y. Fukui 他23名

IV. 総会・評議員会および理事会

1. 総会

2002年春季総会

日時：2002年3月29日(金) 16:00～17:30

場所：茨城大学 人文学部講義棟(水戸市)

議長：田原博人氏(天文月報2002年6月号 p306 議事録参照)

2002年度秋季総会

日時：2002年10月8日(火) 16:00～17:30

場所：ワールド・コンベンション・センター・サミット・ファウンテンルーム(宮崎市)

議長：松田卓也氏(天文月報2002年12月号 p625 議事録参照)

2. 評議員会

日時：2002年1月26日(土) 11:00～16:15

場所：国立天文台 大会議室(三鷹市)

議長：小山勝二氏(天文月報2002年4月号 p199 議事録参照)

日時：2002年3月29日(金) 12:30～13:30

場所：茨城大学 地域総合研究所3F会議室(水戸市)

議長：谷口義明氏(天文月報2002年6月号 p305 議事録参照)

日時：2002年7月13日(土) 11:00～15:35

場所：国立天文台 講義室(三鷹市)

議長：舞原俊憲氏(天文月報2002年10月号 p488 議事録参照)

日時：2002年10月8日(火) 12:00～13:00

場所：ワールド・コンベンション・センター・サミット会議室(宮崎市)

議長：吉井 譲氏（天文月報 2002 年 12 月号 p624 議事録参照）

3. 理事会

日時：2002 年 1 月 12 日(土) 11:00 ~ 16:30

場所：国立天文台 講義室（三鷹市）

議長：田原博人氏（天文月報 2002 年 3 月号 p152 議事録参照）

日時：2002 年 3 月 28 日(木) 12:25 ~ 13:25

場所：茨城大学 地域総合研究所 3 F 会議室（水戸市）

議長：松田卓也氏（天文月報 2002 年 6 月号 p304 議事録参照）

日時：2002 年 6 月 29 日(土) 11:05 ~ 17:10

場所：国立天文台 講義室（三鷹市）

議長：田原博人氏（天文月報 2002 年 10 月号 p485 議事録参照）

日時：2002 年 10 月 7 日(月) 12:00 ~ 13:00

場所：ワールド・コンベンション・センター・サミット会議室（宮崎市）

議長：田原博人氏（天文月報 2002 年 12 月号 p622 議事録参照）

V. 委員会、選挙、共催・後援等、民間の賞・助成、その他

1. 委員会関係

◇ 欧文研究報告編集委員会：2002 年度は 175 編の投稿論文があり、6 回の発行を行った。第 6 号ですばるの特集を行った。電子版についてはパスワード認証によるアクセス制限を始めた。また国内の機関購読については、当初電子版の購読を許可していなかったが、会員からの要望に基づき 4 月からドメイン認証によるアクセス許可を開始した。

◇ 天文月報編集委員会：2002 年度は 12 号発刊で、1 月号で「なんてん」の特集を、5 月号で「新天体発見事情」の特集、10 月号、11 月号で「すばるが拓く新しい太陽系の描像」の特集を行った。また 12 月号で小柴昌俊博士のノーベル賞受賞を祝した特集を行った。今年度は、現在の編集作業に合わせる形で執筆要項の大幅な改訂作業を行い、会員名簿及び学会 web 上で公開した。さらに天文月報の直接印刷費の見直し作業を行うと共に、印刷業者を 2 年ごとに見直すシステムに移行した。これに伴って、天文月報の印刷業者が松本印刷から国際文献社に移行する。

◇ 年会実行委員会：2002 年 1 月 15 日(火)および 7 月 12 日(金)に国立天文台において開催し、天文学会年会のプログラムを編成した。秋季年会については、年会実行委員会が指定した時間枠内で、3 つの企画セッションのプログラムをコンビナーに編成

して戴いた。

◇ 天文教育委員会：年会時の公開講演会と天文教育フォーラム（共催）を開催した。プラネタリウムなど一般向け講演会への講師派遣は、順調に始まっている。

◇ 選挙管理委員会：理事及び評議員による科研費補助金審査委員候補者選挙を行った。

◇ 林 忠四郎賞選考委員会：2002 年度の林 忠四郎賞受賞候補者と欧文報告論文賞受賞候補者を選考した。

◇ 研究奨励賞選考委員会：2002 年度（第 14 回目）の研究奨励賞受賞候補者 3 名を選考した。内規第 3 条の「原則として 1 年 1 名とする」を「受賞者は毎年 3 名以内とする」に変更した。1 名の方より 1 万円の寄付を頂いた。

◇ 天体発見賞選考委員会：2002 年度の天体発見賞候補者及び天体発見功労賞候補者、天文功労賞受賞者を選考した。

◇ 内地留学奨学金選考委員会：2003 年度の内地留学奨学金の募集を行い、1 名を選出した(天文月報 2002 年 1 月号参照)。また、内規変更について原案を検討した。

◇ 早川幸男基金選考委員会：渡航旅費補助の募集を年 4 回行い、応募者 42 名のうち採択者 23 名（別に望遠鏡のマシントラブルにより待機者 1 名）に 279 万 9 千円を援助した。佐藤明達氏より当基金へ 500 万円の寄付を頂いた。

◇ ネットワーク委員会：事務所内計算機ディスクを常に適正な状態に保守し、重要データ等のバックアップを適切に行った。また、学会ホームページの内容を随時更新した。

◇ 天文教材小委員会：大学向け教材「X 線天文学で学ぶ物理の世界」を監修し、完成した。天文学会監修三省堂刊「新星座早見」改訂版を作成している。3 月完成予定だが、本件は引き継がず、完成までを旧委員会メンバーにて実施する。

◇ IAU 京都総会記念基金：2002 年 7 月 2 日～5 日に一ツ橋で開催された、第 8 回 IAU アジア太平洋地域会議に、400 万円を一括移算した。内規 3 条により本基金を閉じ、残金は早川基金へ繰り入れた。

◇ 学術交流費：賛助会員会費で若手研究者の研究成果の発表者に対して、年会旅費の一部補助を行う制度である。2002 年度の春季年会は茨城大学、秋季年会は宮崎市で開催され、発表者 189 名に対して 230 万円の旅費補助を行った。

◇ 創立 100 周年記念出版事業編集委員会：故後藤三男氏の御遺志により御遺族から戴いた寄付金（3,000 万円）を基金としている。編集委員会に関する内規を制定し、委員長に岡村定矩氏（東京大学）

が任命された。

2. 選挙

◇ 2003 年度科学研究費補助金審査委員候補者の選出を、理事及び評議員で行い、日本学会学術体制常置委員会へ推薦した（5月）。

3. 共催・後援等

◇ 国際・国内シンポジウムなどの共催 3 件、後援 4 件、協賛 3 件を行なった。

4. 民間の賞及び研究助成

◇ 第 33 回（平成 14 年度）三菱財団自然科学研究助成として、東京大学大学院理学系研究科助教河野孝太郎氏に 700 万円の研究助成が行われた。

◇ (財)山田科学振興財団「2002 年度研究援助候補推薦」に 1 件（申請 1 件）を推薦した。

◇ 第 43 回東レ科学技術研究助成候補者 1 名（申請 1 件）を推薦した。

◇ (財)朝日新聞文化財団の 2002 年度朝日賞候補者に 1 名（申請 1 件）を推薦した。

◇ (財)井上科学振興財団の第 19 回井上学術賞候補者に 1 名（申請 1 件）を推薦した。

5. その他

◇ 文部科学省より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費研究成果発表（B）」（公開講演会）に対して、63 万円が交付された。

◇ 文部科学省より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費研究成果発表（C）」（第 8 回 IAU アジア太平洋地域会議）に対して、430 万円が交付された。

◇ 日本学術振興会より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費（学術定期刊行物）」（PASJ）に対して、800 万円が交付された。

◇ 会員からの PASJ 寄贈 61 部のうち 45 部を発展途上国及び PASJ 購入困難な国に寄贈（21 ケ国）している。

◇ 「ALMA 計画への早期参加実現に関する要望書」を 11 月 25 日に遠山文部科学大臣へ提出した。

◇ 男女共同参画学協会連絡会に正式参加した。

会員数

2002 年 12 月 31 日現在の会員数は以下の通りである。

	正会員(内学生)	準会員	団体会員	賛助会員	合計
2001 年 12 月 31 日	1,373 (265)	1,298	43	42	2,756
入 会	117 (97)	33	3	2	155
退 会	39 (25)	51	3	2	95
移籍(増)	3 (2)	9	0	0	12
移籍(減)	9 (5)	3	0	0	12
正会員(学生減)→正会員	(25)				
2002 年 12 月 31 日	1,445 (309)	1,286	43	42	2,816

(注：移籍とは正会員と準会員間との移動のことを指す)

定款第 12 条に基づき、1 月の評議員会議決を経て、正会員 18 名（内学生 14 名）、準会員 8 名、賛助会員 1 社が 2000 年度からの会費未納のため除名された。

(文責 庶務理事：郷田直輝)

その他

オーストラリア、Stromlo 山天文台山火事被災について

すでにニュース等でご存じかとは思いますが、わが国とも関係の深い、オーストラリア国立大学 Stromlo 山天文台が一月中旬の山火事により大きな打撃を受けました。望遠鏡などほとんどの施設が被災したようです。詳しい情報は <http://www.anu.edu.au/fires/> をご覧下さい。日本天文学会でも、すでに理事長名でお見舞い、及び迅速な復旧を期待する旨の e-mail を同天文台長あて送付いたしました。

同天文台復興、学生救護、また天文台スタッフ救護のために、インターネットによる募金活動がオーストラリア国立大学では始められております。趣旨に賛同される方は、<http://www.anu.edu.au/fires/relief.php> をご参照下さい。

また、日本天文学会でも、春季年会会場において、天文台復興に対する募金活動を行う予定であります。募金箱を用意しますので、よろしくご協力をお願い致します。

日本天文学会理事長 松田卓也

[第2号議案]

日本天文学会 2002 年度収支計算書(案)

《一般会計》

収支計算書

2002年1月1日～2002年12月31日

[収入の部]

(単位:円)

科目	予算額	決算額
基本財産運用収入	35,000	5,412
基本財産利息収入	35,000	5,412
会費収入	34,770,000	35,551,300
正会員会費	19,800,000	20,679,805
正会員(学生)会費	3,770,000	4,087,000
準会員会費	10,800,000	10,334,495
団体会員会費	400,000	450,000
事業収入	25,074,000	26,532,737
欧文研究報告事業	13,684,000	14,623,489
購読料	3,385,000	4,555,182
掲載料	6,099,000	8,051,938
別刷代	4,200,000	2,016,369
天文月報事業	4,840,000	4,064,411
購読料	880,000	815,361
別刷代	1,080,000	1,021,550
広告料	2,880,000	2,227,500
年会事業	6,550,000	7,844,837
予稿集頒布	2,300,000	2,602,000
登録料	4,000,000	5,054,000
雑収入	250,000	188,837
補助金等収入	7,600,000	16,680,000
定期刊行物補助金	7,000,000	8,000,000
公開講演会補助金	600,000	630,000
第8回IAU地域会議	0	4,300,000
年会補助金(宮崎)	0	3,750,000
寄付金収入	0	158,000
寄付金	0	158,000
印税収入	1,550,000	49,266
星座早見	1,500,000	0
その他	50,000	49,266
雑収入	810,000	827,578
受取利息	10,000	4,261
特別企画	500,000	636,470
その他の収入	300,000	120,847
延滞金	0	66,000
特定預金取崩収入	500,000	500,000
減価償却預金取崩	500,000	500,000
退職預金取崩	0	0
当期収入合計(A)	70,339,000	80,304,293
繰越収支差額	13,041,372	18,709,579
収入合計(B)	83,380,372	99,013,872

[支出の部]

(単位:円)

科目	予算額	決算額
事業費	55,883,300	53,230,291
欧文研究報告	28,003,300	27,137,155
直接出版費	15,896,500	16,603,900
別刷印刷費	1,806,800	1,049,896
人件費	6,700,000	3,915,240
謝金	1,300,000	3,691,120
送料運搬費	2,100,000	1,681,325
消耗品費	100,000	106,174
雑費	100,000	89,500
天文月報発行	19,980,000	15,457,671
直接出版費	11,200,000	7,986,566
別刷印刷費	800,000	758,940
人件費	1,200,000	1,297,508
謝金	2,780,000	2,426,138
送料運搬費	3,200,000	2,760,114
消耗品費	500,000	195,006
雑費	300,000	33,399
年会事業費	7,900,000	10,635,465
予稿集印刷費	2,100,000	1,854,405
謝金	1,000,000	971,350
送料運搬費	300,000	187,265
会場費	2,000,000	5,156,550
消耗品費	300,000	299,573
人件費	1,300,000	1,299,563
雑費	300,000	326,789
旅費交通費	400,000	379,120
保育室運営経費	200,000	160,850
管理費	19,140,000	23,032,778
人件費	7,000,000	7,399,811
謝金	700,000	427,345
会議費	300,000	209,912
負担金	150,000	72,000
旅費交通費	1,200,000	1,106,700
送料通信費	1,800,000	1,044,594
什器備品費	500,000	1,113,210
消耗品費	800,000	949,079
印刷製本費	2,500,000	656,670
光熱水料費	250,000	240,936
賃借料	2,100,000	1,970,179
保険料	240,000	148,934
諸手数料	900,000	318,902
修繕費	100,000	54,810
書籍購入費	100,000	76,304
第8回IAU地域会議	0	4,300,000
特別企画調製費	50,000	124,375
公開講演会諸経費	0	1,159,775
雑費	450,000	542,242
徴集不能額	0	1,117,000
特定預金支出	199,500	200,000
退職引当預金支出	199,500	200,000
予備費	8,157,572	
当期支出合計(C)	83,380,372	76,463,069
当期収支差額(A)-(C)	△13,041,372	3,841,224
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	22,550,803

貸借対照表

2002年12月31日現在

(単位：円)

科目	金額	
[資産の部]		
流動資産		
現金預金	40,745,717	
未収会費	1,351,085	
貯蔵品	1,411,553	
有価証券	5,700,000	
未収入金	4,050,580	
流動資産合計		53,258,935
固定資産		
基本財産		
投資有価証券	12,310,000	
基本財産合計	12,310,000	
その他の固定資産		
什器備品	2,853,806	
投資有価証券	1,200,000	
退職引当預金	391,000	
減価償却引当預金	3,022,296	
その他の固定資産合計	7,467,102	
固定資産合計		19,777,102
資産合計		73,036,037
[負債の部]		
流動負債		
未払金	1,211,579	
前受金	1,147,000	
前受会費	26,938,000	
流動負債合計		29,296,579
固定負債		
退職引当金	391,000	
固定負債合計		391,000
負債合計		29,687,579
[正味財産の部]		
正味財産		43,348,458
(うち基本金)		(12,310,000)
(うち当期正味財産増加額)		(2,822,438)
負債及び正味財産合計		73,036,037

正味財産増減計算書

2002年1月1日～2002年12月31日

(単位：円)

科目	金額	
[増加の部]		
資産増加額		
当期収支差額	3,841,224	
什器備品増加額	1,113,210	
退職引当預金増加額	200,000	
減価償却引当預金増加額	907	5,155,341
負債減少額		
増加額合計		5,155,341
[減少の部]		
資産減少額		
什器備品減価償却額	1,095,958	
貯蔵品減少額	536,945	
減価償却引当預金取崩額	500,000	2,132,903
負債増加額		
退職引当金繰入額	200,000	200,000
減少額合計		2,332,903
当期正味財産増加額		2,822,438
前期繰越正味財産額		40,526,020
期末正味財産合計額		43,348,458

財産目録
2002年12月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金預金	40,745,717		
現金手許有価証券	15,325,445		
普通預金	25,420,272		
東京三菱銀行	25,270,687		
住友信託銀行	149,585		
未収会費	1,351,085		
貯蔵品	1,411,553		
有価証券	5,700,000		
未収入金	4,050,580		
流動資産合計		53,258,935	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	12,310,000		
基本財産合計	12,310,000		
その他固定資産			
什器備品	2,853,806		
投資有価証券	1,200,000		
退職引当預金	391,000		
減価償却引当預金	3,022,296		
その他固定資産合計	7,467,102		
固定資産合計		19,777,102	
資産合計			73,036,037
[負債の部]			
流動負債			
未払借金	1,211,579		
前受借金	1,147,000		
航空便前受	21,000		
予稿集前受	1,126,000		
預り金	0		
給与源泉税	0		
校正源泉税	0		
その他源泉税	0		
前受会費	26,938,000		
正会員会費	16,118,000		
正会員(学生)会費	2,764,000		
準会員会費	8,006,000		
団体会員会費	50,000		
流動負債合計		29,296,579	
固定負債			
退職引当金	391,000		
固定負債合計		391,000	
負債合計			29,687,579
正味財産			43,348,458

《特別会計》

学術交流費会計

収支計算書

2002年1月1日～2002年12月31日(単位:円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
賛助会員会費収入	1,500,000	1,470,000
受取利息	600	157
当期収入合計(A)	1,500,600	1,470,157
繰越収支差額	1,886,810	1,721,401
収入合計(B)	3,387,410	3,191,558
[支出の部]		
学術交流費	2,000,000	2,300,000
雑費	2,000	3,100
徴収不能額	0	60,000
当期支出合計(C)	2,002,000	2,363,100
当期収支差額(A)-(C)	△501,400	△892,943
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,385,410	828,458

貸借対照表

2002年12月31日現在

科目	金額	
[資産の部]		
流動資産		
現金預金	888,458	
未収会費	90,000	
流動資産合計	978,458	
資産合計		978,458
[負債の部]		
流動負債		
前受会費	150,000	
流動負債合計	150,000	
負債合計		150,000
[正味財産の部]		
正味財産		828,458
(うち当期正味財産減少額)		(892,943)
負債及び正味財産合計		978,458

財産目録

2002年12月31日現在

[資産の部]			
流動資産			
現金預金	888,458		
現金 現金手許有高	29,880		
普通預金	858,578		
東京三菱銀行	858,578		
未収会費	90,000		
流動資産合計		978,458	
資産合計			978,458
[負債の部]			
流動負債			
前受会費	150,000		
賛助会員会費	150,000		
流動負債合計		150,000	
負債合計			150,000
正味財産			828,458

内地留学奨学会会計

収支計算書

2002年1月1日～2002年12月31日(単位:円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	11,000	1,481
当期収入合計(A)	11,000	1,481
繰越収支差額	4,219,218	4,126,730
収入合計(B)	4,230,218	4,128,211
[支出の部]		
奨学金支出	300,000	250,000
雑費	2,000	2,205
旅費支出	50,000	0
当期支出合計(C)	352,000	252,205
当期収支差額(A)-(C)	△341,000	△250,724
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,878,218	3,876,006

貸借対照表

2002年12月31日現在

科目	金額	
[資産の部]		
流動資産		
現金預金	176,006	
有価証券	3,700,000	
流動資産合計	3,876,006	
資産合計		3,876,006
[正味財産の部]		
正味財産		3,876,006
(うち当期正味財産減少額)		(250,724)
負債及び正味財産合計		3,876,006

財産目録

2002年12月31日現在

[資産の部]			
流動資産			
現金預金	176,006		
普通預金	176,006		
住友信託銀行	176,006		
有価証券	3,700,000		
流動資産合計		3,876,006	
資産合計			3,876,006
正味財産			3,876,006

研究奨励賞会計

収支計算書

2002年1月1日～2002年12月31日 (単位:円)

科 目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄付金収入	100,000	10,000
受取利息	500	70
当期収入合計(A)	100,500	10,070
繰越収支差額	5,721,070	5,688,361
収入合計(B)	5,821,570	5,698,431
[支出の部]		
奨励賞支出	200,000	200,000
雑 費	20,000	9,822
旅 費 支 出	40,000	16,700
当期支出合計(C)	260,000	226,522
当期収支差額(A)-(C)	△159,500	△216,452
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,561,570	5,471,909

貸借対照表

2002年12月31日現在

科 目	金 額		
[資産の部]			
流 動 資 産			
現 金 預 金	769,909		
定 額 預 金	4,702,000		
流 動 資 産 合 計		5,471,909	
資 産 合 計			5,471,909
[正味財産の部]			
正 味 財 産			5,471,909
(うち当期正味財産減少額)			(216,452)
負債及び正味財産合計			5,471,909

財 産 目 録

2002年12月31日現在

[資産の部]			
流 動 資 産			
現 金 預 金	769,909		
現金 現金手許有高	612,963		
郵 便 預 金	156,946		
普 通 預 金	0		
東京三菱銀行	0		
定 額 預 金	4,702,000		
流 動 資 産 合 計		5,471,909	
資 産 合 計			5,471,909
正 味 財 産			5,471,909

早川幸男基金会計

収支計算書

2002年1月1日～2002年12月31日 (単位:円)

科 目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄付金収入	1,000,000	5,000,000
受取利息	50,000	9,493
繰入金収入	0	100,389
当期収入合計(A)	1,050,000	5,109,882
繰越収支差額	23,375,711	25,785,211
収入合計(B)	24,425,711	30,895,093
[支出の部]		
研究補助支出	2,700,000	2,798,103
雑 費	10,000	7,350
当期支出合計(C)	2,710,000	2,805,453
当期収支差額(A)-(C)	△1,660,000	2,304,429
次期繰越収支差額(B)-(C)	21,715,711	28,089,640

貸借対照表

2002年12月31日現在

科 目	金 額		
[資産の部]			
流 動 資 産			
現 金 預 金	3,089,640		
有 価 証 券	25,000,000		
流 動 資 産 合 計		28,089,640	
資 産 合 計			28,089,640
[正味財産の部]			
正 味 財 産			28,089,640
(うち当期正味財産増加額)			(2,304,429)
負債及び正味財産合計			28,089,640

財 産 目 録

2002年12月31日現在

[資産の部]			
流 動 資 産			
現 金 預 金	3,089,640		
普 通 預 金	3,089,640		
東京三菱銀行	2,896,209		
住友信託銀行	193,431		
有 価 証 券	25,000,000		
流 動 資 産 合 計		28,089,640	
資 産 合 計			28,089,640
正 味 財 産			28,089,640

林 忠四郎賞会計

収支計算書

2002年1月1日～2002年12月31日(単位:円)

科 目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	42,500	4,626
当期収入合計(A)	42,500	4,626
繰越収支差額	16,107,937	14,825,443
収入合計(B)	16,150,437	14,830,069
[支出の部]		
林 賞 支 出	300,000	300,000
雑 費	10,000	29,212
旅 費 支 出	130,000	140,000
当期支出合計(C)	440,000	469,212
当期収支差額(A)-(C)	△397,500	△464,586
次期繰越収支差額(B)-(C)	15,710,437	14,360,857

IAU 記念基金会計

収支計算書

2002年1月1日～2002年12月31日(単位:円)

科 目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	15,000	1,696
当期収入合計(A)	15,000	1,696
繰越収支差額	4,117,714	4,127,193
収入合計(B)	4,132,714	4,128,889
[支出の部]		
雑 費	12,714	28,500
旅 費 支 出	4,120,000	0
IAU地域会議	0	4,000,000
繰入金支出	0	100,389
当期支出合計(C)	4,132,714	4,128,889
当期収支差額(A)-(C)	△4,117,714	△4,127,193
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0

貸借対照表

2002年12月31日現在

科 目	金 額	
[資産の部]		
流 動 資 産		
現金預金	360,857	
有 価 証 券	14,000,000	
流動資産合計		14,360,857
資 産 合 計		14,360,857
[正味財産の部]		
正 味 財 産		14,360,857
(うち当期正味財産減少額)		(464,586)
負債及び正味財産合計		14,360,857

貸借対照表

2002年12月31日現在

科 目	金 額	
[正味財産の部]		
(うち当期正味財産減少額)		(4,127,193)
負債及び正味財産合計		0

財産目録

2002年12月31日現在

[資産の部]		
流 動 資 産		
現金預金	360,857	
普通預金	360,857	
東京三菱銀行	0	
住友信託銀行	360,857	
有 価 証 券	14,000,000	
流動資産合計		14,360,857
資 産 合 計		14,360,857
正 味 財 産		14,360,857

[資産の部]		
流 動 資 産		
現金預金	0	
普通預金	0	
住友信託銀行	0	
流動資産合計		0
資 産 合 計		0
正 味 財 産		0

創立 100 周年記念出版事業会計

収支計算書

2002 年 1 月 1 日～2002 年 12 月 31 日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄 付 金	0	30,000,000
受 取 利 息	0	22
当期収入合計(A)	0	30,000,022
繰越収支差額	0	0
収入合計(B)	0	30,000,022
[支出の部]		
出 版 経 費	0	0
旅 費 支 出	0	0
雑 費	0	0
当期支出合計(C)	0	0
当期収支差額(A)-(C)	0	30,000,022
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	30,000,022

貸借対照表

2002 年 12 月 31 日現在

科 目	金 額		
[資産の部]			
流 動 資 産			
現 金 預 金	30,000,022		
流 動 資 産 合 計		30,000,022	
資 産 合 計			30,000,022
[正味財産の部]			
正 味 財 産			30,000,022
(うち当期正味財産増加額)			(30,000,022)
負債及び正味財産合計			30,000,022

財 産 目 録

2002 年 12 月 31 日現在

[資産の部]			
流 動 資 産			
現 金 預 金	30,000,022		
普 通 預 金	30,000,022		
東京三菱銀行	30,000,022		
流 動 資 産 合 計		30,000,022	
資 産 合 計			30,000,022
正 味 財 産			30,000,022

(本会計は 7 月 19 日に発足しました)

(社) 日本天文学会へ 2002 年 10 月 8 日から 2003 年 1 月 10 日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

正会員入会者 (54 名)

森田うめ代	都立大・大学院理 (在学)	馬場一晴	大阪大・大学院理 (在学)
谷津陽一	東京工業大 (在学)	鈴木素子	東京工業大 (在学)
生田ちさと	国立天文台	佐藤理江	東京工業大 (在学)
山本佳久	東京工業大・大学院 (在学)	五十川知子	東京工業大 (在学)
織田岳志	京大・大学院理 (在学)	橋本哲也	九州大 (在学)
岡本文典	京大 (在学)	山本一登	総研大 (在学) / 国立天文台
芹野裕理	東京工業大 (在学)	小澤朋子	大阪教育大・大学院 (在学)
佐藤浩介	都立大・大学院理 (在学)	佐藤祐介	東京学芸大・大学院 (在学) / 国立天文台
高橋健太	京大 (在学)	篠崎慶亮	都立大・大学院 (在学)
大久保琢也	東大・大学院理 (在学)	高橋慶太郎	東大・大学院理 (在学)
小林正和	京大・大学院理 (在学)	山田志真子	北大・大学院 (在学)
CHAN SZETING	東大・大学院理 (在学)	忠内可奈	名大・大学院理 (在学)
山内千里	名大・大学院理 (在学) / 国立天文台	前田普教	名大・大学院理 (在学)
近松 健	宮城学院女子大	永山貴宏	名大・大学院理 (在学)
小原直樹	東大・大学院理 (在学) / 国立天文台	森井幹雄	東京工業大・大学院 (在学)
安藤真一郎	東大 (在学)	渡辺ちさと	京大・大学院理 (在学)
伊吹山秋彦	東大・大学院理 (在学) / 国立天文台	白崎裕治	国立天文台
河合利秀	名大・理	諸隈智貴	東大・大学院理 (在学)
池田紀夫	東京工業大・大学院 (在学)	和田晋平	京大 (在学)
村岡雅江	千葉大 (在学)	佐々木孝浩	東大・大学院理 (在学)
浅井直樹	千葉大・大学院 (在学)	中村 航	東大・大学院理 (在学)
松永典之	東大・大学院理 (在学)	勝田 豊	北大・大学院理 (在学)
須田浩志	東大・大学院理 (在学)	山田早苗	東北大・大学院理 (在学)
梅田和義	東北大・大学院理 (在学)	稲田直久	東大・大学院理 (在学) / 宇宙線研究所
齋藤正也	総研大 (在学) / 国立天文台	山本則正	立教大
阿部博史	名大・大学院 (在学)	吉戸智明	名大・大学院 (在学)
小野寺仁人	東大・大学院理 (在学)	中村美穂	東大・大学院 (在学)

準会員入会者 (7 名)

間所秀樹	理化学研究所	白極光典	東京都杉並区在住
武田玲子	東京都府中市在住	横尾享弘	群馬大 (在学)
安部容子	茨城県つくば市在住	白坂隆之介	京大 (在学)
木暮大宣	東京理科大 (在学)		

移籍会員

[準→正]	青山隆司	福井工業大・宇宙通信工学					
[正→準]	後藤広志	斉藤国治	斉藤良一	桜井邦朋	高岡 史	中村芳昭	林 良一
	宮坂正大	並木雅俊	西村 修	株本訓久	今西健介	森本忠明	白井 正
	八柳祐一	石井未来	青山紘子	板垣和幸	高橋富士信	角張洋平	山口康広
	白水麻里意						

正会員退会者 (14 名)

飯村 登 河合吾郎 萬本忠宏 栗野嵩志 蛭子朝三 合川正幸 田尻愉香
渡辺 悟 持田大作 佐藤和久 吉楽高夫 藤田 忍 西村知宏 矢野 梓

準会員退会者 (49 名)

内藤博道 伊賀正夫 石橋一郎 板橋伸太郎 今田道男 大野隆嘉 岡田智了
小山俊雄 木村俊哉 高橋 徹 田澤誠一 田中聡弘 田中敬信 田中静人
玉木順子 土屋義雄 照井正宏 富樫一憲 橋本美智子 秦 茂 原 敏之
宮越 貢 牟田 功 村上剛宏 湯田 勉 吉田淳三 三橋康彦 平野 高
傳田紀代美 松原義継 武田 悟 駒田龍彦 酒井睦夫 森山純子 半田利文
高野匡代 蜂須賀一也 野呂 敦 齋藤 亮 池田達郎 田中芳和 鈴木孝志
原 寿男 澁谷英紀 金野幸吉 前田卓巳 堀江 満 板倉礼奈 本橋 登

団体会員退会者 (2 団体)

枚方市野外活動センター
九州東海大学附属熊本図書館

賛助会員退会者 (1 社)

コーニングインターナショナル

編集後記

「退任のことば」

◆包容力に溢れる上野宗孝編集長の下で暴走気味の編集委員を務めました。新しい経験と知己を得て有意義な時間を過ごすことが出来ました。心残りはひとつ、「21世紀の天文学の行方」を標榜して実施した編集委員合宿の成果がまだ記事になっていないことです。今年こそ何とか...と思っていますので、新しい委員の方々、その時にはよろしく願い申し上げます。

(伊藤孝士)

◆4年間編集委員を務めさせて頂き、ノーベル賞受賞のお祝いの言葉集など様々に残るお務めがありました。ここでは「特集：磁気アウトフローに」の思い出を紹介。上野編集長の大胆な決断により、付録として発行された特集号、私は最終点検を担当しました。作業は、ただでさえ目眩がするような初夏の暑い日でした。最近の理論研究は、専門分野の研究者のみ理解できるという印象があるのですが、特集号では、昨年急逝された内田 豊さんをはじめ、寄稿して下さった皆さんが、それぞれの考え方をできるだけ噛み砕いて説明しようと努められており、その姿勢に心を動かされ、暑さにも負けず任務を遂行できました。

編集委員を退いた後は、投稿することで、月報のお役に立てればと思っています。

(内藤統也)

◆編集委員を務めては4年。編集のおもしろさあり、掲載原稿がないときのスリルあり、一口で二度美味しい(?)お仕事でした。「目からウロコ」の企画をいろいろやりたかったのですが、実現したのは表紙だけ? 今後も、別の面で月報づくりに協力していきたいと思っています。

(小野智子)

◆天文月報に関わって6年にもなりました。自分の成長が遅いので、もうそんなに続けてきたのかと思います。その間、実に頼りない編集長として4年間携わりましたが、編集委員のメンバーに恵まれたため、何とか乗り切ることができたというのが感想です。紙面をお借りして編集委員の皆さん、事務所の山崎さん、DTPの峯尾さん、天文学会事務所の皆様にあらためてお礼を申し上げます。

天文月報は天文学会の顔となるべき出版物であり、学会員の皆様だけではなく一般にも販売もされております。科学の発展を広報することは、今後ますます重要となることは明らかです。天文月報の担う役割はますます重くなることでしょう。天文月報の形として、少しばかり模索を続けてきましたが、何にもまして重要であることはご寄稿いただく原稿です。今後も皆様の最新の成果を、可能なかぎり天文月報に解説していただくことをお願いいたします。今後の天文月報に関しては新編集長の土橋さんが発展させていかれることと思いますので、皆様ご期待下さい。本当にありがとうございました。

(上野宗孝)

編集委員 上野宗孝(編集長)、伊藤孝士、上田暁俊、大石奈緒子、太田耕司、小野智子、齋藤芳隆、土橋一仁、内藤統也、藤田 裕

平成 15 年 2 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
定価 700 円(本体 667 円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: toukou@geppou.asj.or.jp DTP: 峯尾由紀子